

2019 Japan National Team Report "選手"



報告者	クラブ 広島セーリングスクール 学年 中学3年生 氏名 向井 真太郎		
大会名	2019 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP		
開催地	オマーン ムッサナー		
大会期間	2019年9月30日 ~ 2019年10月7日		
セールNo	JPN 3283	最終順位	83/141 位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温も湿度も高かとても高かった。海水は温いと感じるほど。上下ともラッシュ1枚でいける。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	大会中、風はmax14ノットぐらいで、強くも弱くもなかった。軸となる風向があって、風が振れても15~16時ぐらいにそこに戻っていく感じ。波が高い。潮はそこそこ強い。
セッティングで注意したこと	ラフを張りすぎないこと。上り角度がつくようにした。
セーリングで注意したこと	他の国の選手はみんな上り角度がすごいので、自分もそれを重視した。
海上で練習したこと	スピードを落とさずに角度をつける練習。 また、コーチボートをシェアしたマレーシアの選手と一緒に練習した。

実際のスベリはどうでしたか？	角度が全然付けられず、苦戦した。 トップ選手にはかなわないが、スピードは意外とあったと思う。
スタートは、どうでしたか？	周囲が砂漠のため見通しがなくて、大変だった。 国内のレースよりも、皆スタートラインに並ぶのが早いので、90秒くらい前には入っておいた ほうがよかった。
コース戦略はどうでしたか？	右か左かを読むのが難しかった。 振れないと聞いていたが、意外と振れた。
自分より上位の選手との違いは？	やっぱり上り角度だと思う。
国内の練習で役立ったこと	セーリング練習。タック練習。
国内の練習で足りなかったこと	大人数でのレースにもっと出て、色々な海面で実戦練習を積んでおけばよかった。
印象に残った外国選手は？	NZL4657:どんなに詰めて走っても、全然角度が届かなかった。 チームレースの時のトルコチーム:スピードがすごかった。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	英語を理解して話せないと、陸でも海でも他国の選手とコミュニケーションが取れないことを痛感した。
今後の課題と目標は？	もっと海面をうまく読めるようになること。 体力、筋力、集中力をつける。 英語を猛勉強する。
JODAへの要望	西日本でも、もっと練習会を開いてほしいです。
その他	思うような成績は残せませんでしたが、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会